

福祉科3年 作業療法・言語聴覚療法講習会

平成30年5月2日(水) 2限～4限に、福祉科3年生36人が作業療法・言語聴覚療法講習会を受講しました。講師としてサンビレッジ国際医療福祉専門学校の先生方をお招きしました。

作業療法に関する基礎的理解



「ゴニオメーター」と呼ばれる器具を用いて、右肩関節の屈曲角度を測定しました



打腱器を用いて、腱反射の検査体験をしました



身体が柔らかくなるストレッチ中です

言語聴覚に関する基礎的理解



誤嚥防止について詳しく学びました



実際に食物を飲み込みにくい姿勢を体験しました



飲み物を飲み込んだ時の音を聴診器で聴いています

<生徒の感想>

- ・聴診器を使ってお互いに飲み物を飲み込んだ時の音を聴きました。健康な私たちは飲み込む力(嚥下力)が強いけれど、加齢とともに唾液の量が減り、嚥下力も低下するので、安全な食事介助や工夫された食事形態の大切さを改めて理解しました。また、CT 動画や画像診断からも嚥下の様子を判断できる方法を初めて知り、医学的な角度からの高齢者に対する安全な介助の学習の必要性も実感しました。学んだことを今後の実習に活かします。
- ・誤嚥防止などの学習が、言語聴覚の分野に入ることを知りました。私は、作業療法士だけでなく、言語聴覚士の仕事にも大変興味・関心があります。今日学んだことは、今後の実習だけでなく、将来の自分の仕事に大変役立つ内容であるので、しっかりと復習し、忘れないようにしたいです。
- ・大切な命を預かる仕事に就くには、様々な分野の学習を深めることが大切であると実感しました。利用者の方の小さな変化にも気付けるような介護福祉士を目指していきたいと思いました。